

# 6がいのくもの子の会だより

<H.30.5.25>

子どもの成長にとって大切なことです。

梅雨のシーズン6月になりますね。

今年の雨量は、どうなるのでしょうか...

湿度が高くなると、また、いろんなことで、不快感も増えますが、子ども達とともに、いろんな遊びの中で、解消して、じいじおじいシーズンも楽しんでお過ごしなすれら〜と思っております。



## <親の育ち方が子育てに影響を与える>

叱ることは、子どもを大切に思い、成長を原動力とする行為なのですが、難しいのは、そこに親自身のいろいろな思いが上乗せされることです。親がどのように育ってきたのかということも、子育てに大なり小なりの影響を及ぼします。

たとえば「子どもを厳しく叱られすぎて、つらかったという体験がある場合、叱るに自分をしたくないと思うこともあります。その一方で、強げたいと思いつつ、自分がされたように子どもに口うるさくしてしまうこともあります。

その背景に、子どもに自分自身を重ね合わせて過剰に不安になっていた、周りの人の目が気にしたり、しつけができていない親だと思われたいようにその思いがあったりするのです。

## 〜叱られすぎた子 Aちゃん事例〜

Aちゃんのママは、子どもの頃から、親に強く出しはかりで育てたため、自信がなく、気弱で言いたいことが言えず、対人関係で苦痛してきました。Aちゃんが自分から友だちの車輪に入っていく、もじもじしている姿を見ていると、当時の自分を見るような思いがして、「そんなことでどうするの！ママがこんなに苦痛するわよ！」とイライラして言ってしまうのです。

子ども同士のケンカで「やり返してきなさい！」と言うこともあれば、相手のママがいるときにはそのママの目を気にして、Aちゃんが悪くないとわかっているのにAちゃんを叱ってしまうこともあります。Aちゃんはどうしたらいいかわからなくなり、ますます引、辺り見探りになってしまいました。

ドキュメント

## 叱られすぎた子 叱られなからた子

(窪田 奈子  
臨床心理士  
(のびのび子育て))

## 〜子どもの将来を見据えて〜

カウンセリングの場で、子どもをどうやって叱ったらいいかわからない、怒ってばかりで子どもが親の顔色をうかがうようになってきたら、叱り方に関する悩みを抱える親御さんに出会うことがよくあります。一方で、子どもを自由のびのびと育てたいと思っている場合に、子どもの言うことをなんでもかんでも聞いてしまうという話も聞きます。

そもそも叱ることは、どういうことなのでしょうか。叱ることは、親が子どもに何を身につけ、どう成長してほしいのかということ、子どもに伝え、導いていくためのコミュニケーションの一つです。

どんなに欲しくても人のものを取ってはいけない、腹が立ても暴力を振るってはいけないなどの、他者を尊重することや、対人関係の基本的なルールを受け入れることを学ぶのは、

また、「今日は誰と一緒に遊んだの? え、一人で遊んだの?」「やめてと言えなかったの?」など、幼稚園であたしを根振り葉振り聞いてはダメ出しするの。Aちゃんママの顔色を窺い、叱られないように、ごまかしや嘘をついたりするようになります。

叱られればかりの場合、子どもは自信を育むことが難しくなります。自分の言い分を聞いてもらえずに問答無用で叱られると、適切に自己主張する力が育たなかったり、親の顔色を窺うことの延長で周りの人の顔色も窺ってしまい、自発的な行動がしづらくなったりすることもあります。

～叱られなかった子 Bちゃん事例～

Bちゃんママは、子どものと真親からささいなことでよく叩かれたり怒鳴られたりして、つらい思いをしてきたので、子どもはどきどきだけ叱らずに育てたいと思っています。

Bちゃんは、とこも活発で、ママはそんな姿を見ているだけで楽しくなります。男の子や、少々せんちゃんやぐらいかいと思われました。Bちゃんが、公園で友だちのおもちゃを取ったり、友だちを押して泣かせたり、ケンカになると叩いたりしても、子ども同士でつかみ合いで叱り合っていることなど、ニコニコ見ています。

ママが笑っているのを見て、Bちゃんはやってもいいんだと理解しました。ママが見ていて注意しないのは、OKサインを出しているのと同じなのです。幼稚園のうちには、せんちゃんや子で遊んでいたのですが、小学生になると、

友だちからBくんは怖いと言われるようになってしまいました。

人に迷惑をかけていても叱られなければ、子どもはしていいこと、悪いことの区別がつかなくなります。何でも思い通りになれば、いつでもあきらめたりするほうで自分の欲求をコントロールする力を身につけられない(そう)。譲ったり話し合ったりして他者の欲求との折り合いをつけたりルールを守ることも学べなくなり、対人関係や集団生活を送る上で困難にぶつかってしまいます。

叱りすぎるの弊害

- ・自信が育めなくなる
- ・自己主張や自発的な行動がしづらくなる
- ・ごまかしや嘘が増える

叱らないの弊害

- ・していいこと、いけないことの区別がつかなくなる
- ・自分の欲求をコントロールできなくなる
- ・対人関係や集団生活で困難にぶつかる



～のびのび子育て～  
将来を決めろ!  
子どもを伸ばす上手なほめ方・叱り方より

